I-O DATA

HDL-LA シリーズ 初回設定マニュアル

LAN DISK L

レシートや納品書は大切に保管してください。
修理時に保証期間を確認するために必要です。

MANU001397

もくじ

はじめに 3
取扱説明書の構成 3
添付品を確認する 3

各部の名前と機能 4

設置する 5
電源を切る、入れる 9

初回設定をする 10
アプリをインストールする 10
設定画面を開く 11
管理者パスワードを設定する .. 13
リモートアクセスの設定をする 15
NarSuSの設定をする 16

パソコンからアクセスする 18
Windowsでアクセスする 19
macOSでアクセスする 21

スマホからアクセスする 22

本製品を活用する 23

困ったときには 24

ランプの状態 27

対応USB HDD 30

お守りください 31
安全のために 31
使用上のご注意 35

アフターサービス 37
お問い合わせ総合窓口 37
修理について 38
ハードウェア保証規定 39

はじめに

取扱説明書の構成

本製品の取扱説明書には、次のものがあります。

- 初回設定マニュアル(本書)：
  本製品の初回設定方法、故障時の対応を説明しています。

- 詳細ガイド(Web)：
  本製品を設置した後、より詳細な説明を求める場合は、インターネット上の詳細ガイドをご覧ください。
  説明例：用途から探す（設定例)、設定画面から探す、設定画面の詳細、困ったときには(FAQ)　など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

https://www.iodata.jp/p/252159

※ 上記URLはHDL1-LA01のものですが、
掲載されている取扱説明書はHDL-LAシリーズ共通です。

添付品を確認する

□ ACアダプター

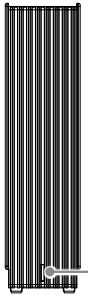
□ LANケーブル

□ QRコードシール(よくあるお問い合わせ)

■ 初回設定マニュアル(本書)

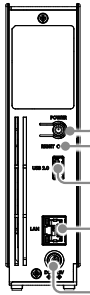
各部の名前と機能

▼ 前面



POWERランプ：本製品の状態を示します。（27ページ）

▼ 背面



POWERボタン：電源を入／切します。（9ページ）

RESETボタン：約４秒押すと、一部設定を購入時に戻します。
（IPアドレス、管理者パスワード、フレームサイズ）

USBポート1(USB 2.0)：外付けHDDなどをつなぎます。

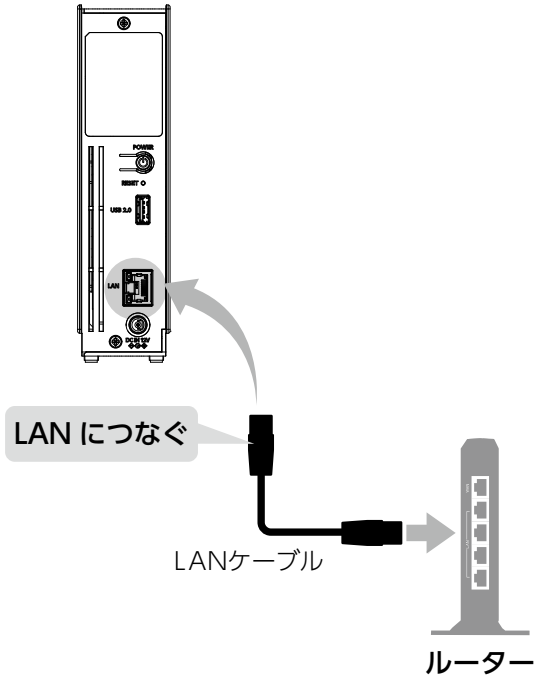
LANポート：LANケーブルでルーターと接続します。

電源コネクター：添付のACアダプターをつなぎます。

設置する

1 ルーターとつなぐ

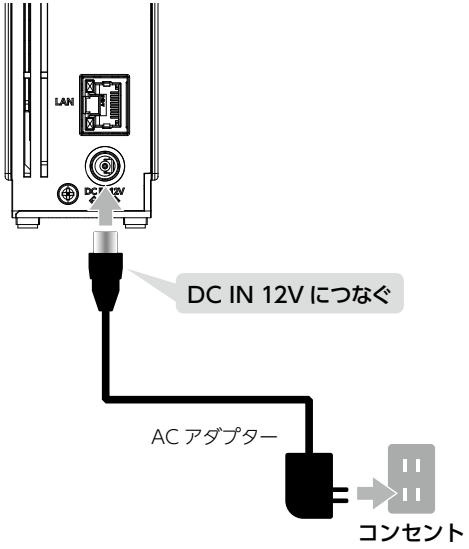
「ルーターのLANポート」と「本製品のLANポート」を添付のLANケーブルでつなぎます。



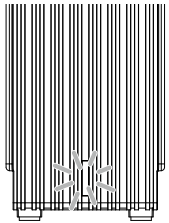
2 電源コンセントとつなぐ

添付のACアダプターを「DC IN 12V」につなぎます。
それから、ACアダプターを電源コンセントにつなぎます。

⇒ 自動で電源がONになります。



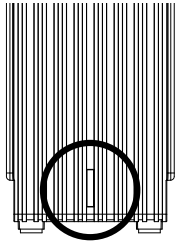
3 POWERランプの緑点滅を確認する



POWERランプが点滅中にコンセントを抜かないでください

ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。
緑点滅の場合は、そのままお待ちください(約10分)。

4 POWERランプが緑点灯するまで待つ



これで本製品が起動しました。
次に【初回設定をする】（10ページ）をご覧ください。

POWERランプが赤点灯した場合

本製品のIP アドレスを固定設定する場合は、このまま【初回設定をする】（10ページ）へお進みください。その他の場合は、【初回起動時、POWERランプが赤点灯した】（24ページ）をご覧ください。

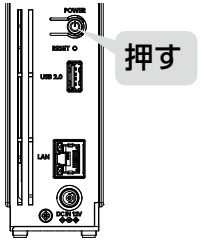
POWERランプが緑点灯しない場合

【起動時にPOWERランプが緑点灯にならない】（25ページ）をご覧ください。

電源を切る、入れる

▼ 電源を切る

背面のPOWERボタンを約2秒間押し続ける



⇒ POWERランプが点滅し、消灯したら停止完了です。

POWERランプが消える前に、ACアダプターを抜かないでください

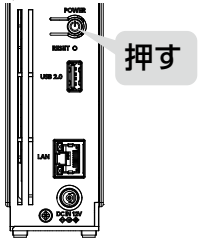
電源が切れるまでに時間がかかる場合があります。
POWERランプが消えるまで、そのままお待ちください。

▼ 電源を入れる（ACアダプター接続済の場合）

背面のPOWERボタンを押す

⇒ ピッと鳴ります。

⇒



この後、7ページ手順3からご覧ください。

初回設定をする

はじめに本製品を設定します。設定にはパソコンを使います。

アプリをインストールする

アプリ「LAN DISK CONNECT」をパソコンにインストールします。
下のWebページにアクセスし、インストールしてください。
https://www.iodata.jp/r/5160

※ LAN DISK CONNECTでは、LAN DISKの共有フォルダーや設定画面ををを開くことなどができます。詳細は、LAN DISK CONNECTのヘルプをご覧ください。

「Officeアドインをインストールしますか?」と表示されたら（Windowsのみ）

Microsoft Office 2013以降がインストールされていれば、［はい］をクリックしてください。
Officeの保存場所として「LAN DISK」を追加します。

パソコンがインターネット接続できない場合

インターネット接続できるパソコンでインストールいただくか、インターネット接続可能なパソコンでアプリをダウンロードし、USBメモリーなどで設定用パソコンに移動してください。

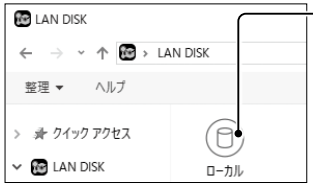
スマホからでも設定可能です

弊社スマホアプリ「Magical Finder」をダウンロードしてご利用ください。ご利用方法はMagical Finderのヘルプをご覧ください。
https://www.iodata.jp/r/3022

設定画面を開く

1 LAN DISK CONNECTを開く

- Windowsの場合
  ① デスクトップ上の［LAN DISK］をダブルクリックする
  ② ［ローカル］をダブルクリックする

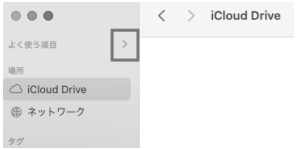


- macOSの場合
  ① Finderを起動する
  ② ［LAN DISK］をクリックする



macOSでLAN DISKの表示されない場合

［よく使う項目］左の［>］をクリックすると表示されます。
※［>］をマウスオーバーすると表示されます。



2



① 表示されたLAN DISKを右クリックする

② [設定画面を開く] をクリックする
⇒ 設定画面が開きます

画面例：Windows 10

[landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅している場合は、点灯に変わるまでお待ちください。
POWERランプが点灯中にも関わらず[landisk-xxxxxx]が表示されない場合は、以下のWebページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s33400.htm

DHCPがない環境で起動時に赤点灯した場合

[IP設定] をクリックし、設置ネットワーク環境に合わせてIPアドレスなどを設定してください。
※管理者パスワード入力画面では、何も入力せずに [OK] をクリックしてください。

設定画面を簡単に開く

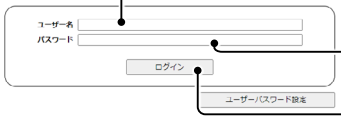
Webブラウザーでお気に入り（ブックマーク）に登録することをおすすめします。

管理者パスワードを設定する

管理者とは

本製品に関する様々な設定ができるユーザー（admin）です。
設定画面を開くには、管理者パスワードが必要です。

1

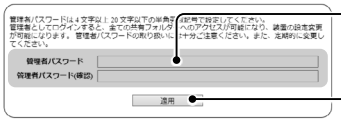


① ユーザー名は「admin」と入力

② パスワードは空欄のまま

③ [ログイン] をクリック

2



① 2つの欄に同じ管理者パスワードを入力する
※ 4～20文字(半角英数記号)

② [適用]をクリックする
⇒ 管理者パスワードを設定します。

管理者パスワードは大切に記録しておいてください

管理者パスワードは設定画面にアクセスするたびに必要です。

3



初期設定が表示されたら、[そのまま次へ] をクリックする
⇒ 初期設定は閉じます。
※ 各タブの設定は、変更しなくても利用できます。

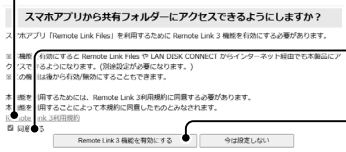
次に、リモートアクセスの設定をおこないます。
リモートアクセスをしない場合は、下記画面で［今は設定しない］をクリックし、【NarSuSの設定をする】（16ページ）へお進みください。



リモートアクセスの設定をする

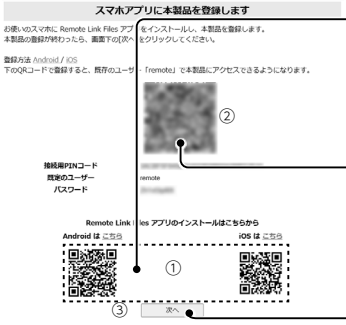
パソコンやスマホでリモートアクセスをするには、事前に設定が必要です。

1



① ［Remote Link 3利用規約］を確認する
② ［同意する］にチェックをつける
③ ［Remote Link 3機能を有効にする］をクリックする

2



① お手持ちのスマホにRemote Link Filesアプリをインストールする
② Remote Link FilesアプリでQRコードを読み取り登録する
③ ［次へ］をクリック

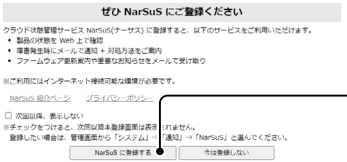
これでリモートアクセスの準備が整いました。
リモートアクセスの方法については、詳細ガイドをご覧ください。

次に、NarSuSの設定をおこないます。

NarSuSの設定をする

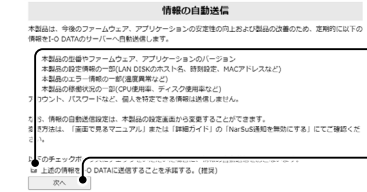
弊社の「NarSuS（ナーサス）」サービスへの登録をおこないます。

1



[NarSuSに登録する] をクリックする

[今は登録しない] をクリックした場合



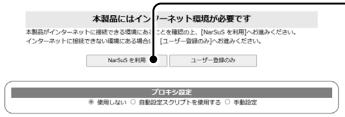
① 内容をご確認の上、問題がなければチェックを付ける

② [次へ] をクリック

これで初回設定は完了です。ブラウザーを閉じてください。

※ 後で設定画面から登録することもできます。登録方法は詳細ガイドをご覧ください。

2



[NarSuSを利用] をクリックする

本製品がインターネットに接続できない場合

[ユーザー登録のみ] をクリックし、画面の指示にしたがってユーザー登録をおこなってください。

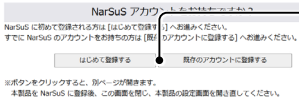
(詳しくは詳細ガイド参照)

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-la/#narsus

プロキシ設定

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、こちらから設定することができます。

3



NarSuSの登録状況に応じてどちらかをクリックする

4 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

→登録が完了したら、登録通知メールが届きますので、保管してください。

NarSuS登録に失敗する場合、ご確認ください

- 本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)
- プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- 本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

これで初回設定は完了です。Webブラウザーを閉じてください。

パソコンからアクセスする

アプリ「LAN DISK CONNECT」を使って、本製品にアクセスします。

Windows でアクセスする …… 19
共有フォルダー「disk1」に、Windows からアクセスします。

macOS でアクセスする …… 21
共有フォルダー「disk1」に、macOS からアクセスします。

アクセスユーザーを追加する場合

特定のユーザーだけがアクセスできるようにする場合は、詳細ガイドをご覧ください。

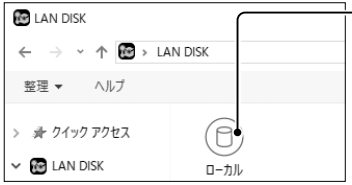
https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-la/#user

Windowsでアクセスする

1 デスクトップ上の[LAN DISK] をダブルクリックする

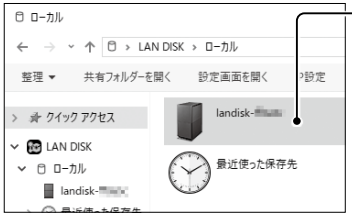
⇒ LAN DISK CONNECTが起動します。

2



[ローカル] をダブルクリックする

3



[landisk-xxxxxx] をダブルクリックする

[landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。
POWERランプが点灯中にも関わらず[landisk-xxxxxx]が表示されない場合は、以下のWebページをご覧ください。

https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s33400.htm

Windows 11からアクセスできない場合

Windowsのセキュリティ向上のため
Windowsの資格情報を登録する必要があります。
詳しくは以下のWebページをご覧ください。

https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s33586.htm

4



［disk1］を
ダブルクリックする
⇒これで、データを読み書きできます。

「LAN DISK Log」には通常アクセスしません

「disk1」以外にも「LAN DISK Log」といった共有フォルダーがご購入時に設定されていますが、通常アクセスする必要はありません。

macOSでアクセスする

1 Finderを起動する

2



① ［LAN DISK］をクリックする
② ［landisk-xxxxxx］をダブルクリックする

macOSでLAN DISKの表示されない場合

［よく使う項目］左の［>］をクリックすると表示されます。
※［>］をマウスオーバーすると表示されます。



3

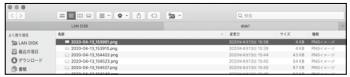


① ［disk1］を選ぶ
② ［OK］をクリックする

「LAN DISK Log」や「usbx」には通常アクセスしません

「disk1」以外にも「LAN DISK Log」や「usbx」（xはUSBポートの番号）といった共有フォルダーがご購入時に設定されています。
これらには通常アクセスする必要はありません。

4



これで、データを読み書きできます。

スマホからアクセスする

リモートアクセス用アプリ「Remote Link Files」を使って、本製品にアクセスします。

リモートアクセスの初回設定

初回設定でリモートアクセスの設定をスキップした場合は、詳細ガイドをご確認ください。

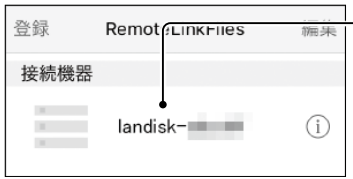
https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-la/#remote

「Remote Link Files」を使って、本製品の共有フォルダーを開きます。

※ 画面例はiOSのものです。

1 Remote Link Filesを開く

2

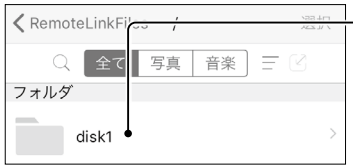


[landisk] をタップする

アクセスできない場合

【Remote Link Filesでログインできない】(26ページ) をご覧ください。

3



[disk1] をタップして開く
⇒これで、データを読み書きできます。

※ 詳しいご利用方法は、Remote Link Filesのヘルプをご覧ください。

本製品を活用する

本製品の活用方法については詳細ガイドをご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-la/

下記のような機能があります。

共有フォルダーの管理

・アクセス制限された共有フォルダーを作る
・disk1へのアクセスを制限する
・USB HDDを共有フォルダーにする

バックアップと復元

・USB HDDにバックアップする

便利な使い方

・メディアサーバーとして使う

その他の設定

・アプリで通知を受ける
・起動スケジュールを設定する
・古い NAS からリプレイスする(機器入れ替え)

[マニュアル内検索] をご利用ください

詳細ガイド(Web) にある
[マニュアル内検索] に
上記機能を検索してご覧ください。



困ったときには

よくあるお問い合わせ(Q&A)

よくあるお問合わせ(Q&A) を弊社サポートページに
まとめました。
こちらもご確認ください。
https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-le/

初回起動時、POWERランプが赤点灯した

ルーターからIPアドレスを取得できていないか、インターネットに接続できていません。
LANケーブルをつなぎ直し、本製品を再起動してください。
⇒【電源を切る方法】(9ページ) 参照

POWERランプが緑点滅のままでデータにアクセスできない

下のWebページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s17483.htm

起動時にPOWERランプが緑点灯にならない

▼ POWER ランプ緑点滅(定期)

チカ ・ チカ ・ チカ ……



⇒起動中・システム処理中(ファームウェア更新中など)

▼ POWER ランプ緑点滅(2 回ずつ)

チカチカ ・ チカチカ ・ チカチカ ……



⇒以下の状態になっています。
- NTP サーバーと時刻同期ができなかった
- ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗した

ルーターがインターネットに接続されていることを確認し、LANケーブルをつなぎ直して本製品を再起動してください。

※ ローカルからのデータアクセスや設定画面へのアクセスは可能です。

困ったときには

管理者パスワードを忘れた・IPアドレスなどを初期化したい

ピンなどの先の細いものでRESETボタンを4秒間押し続けてください。
POWERランプは初期化中に点滅、初期化終了で点灯します。

以下の設定がご購入時の状態に戻ります

・IPアドレス(DHCP有効)　・管理者パスワード　・フレームサイズ

LAN DISK CONNECTで本製品が表示されない

本製品のPOWERランプが緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。その後、再度LAN DISK CONNECTを開き、表示されるかご確認ください。
POWERランプが点灯中にも関わらず [landisk-xxxxxx] が表示されない場合は、以下のWebページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s33400.htm

Remote Link Filesでログインできない

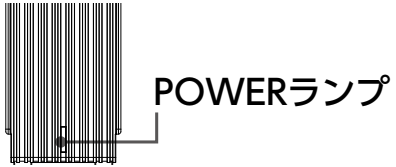
Remote Link Filesのヘルプをご覧ください。

iOS版　　Android版

ランプの状態

ランプの状況で、対処を確認します。
POWERランプの状況から絞り込んでいきます。

▶POWERランプは消灯 …… 28
▶POWERランプは緑点滅 …… 28
▶POWERランプは緑点灯 …… 28
▶POWERランプは赤点灯 …… 29
▶POWERランプは赤点滅 …… 29



▼ POWERランプは消灯

本製品の電源が入っていません。
ACアダプターを確認の上、POWERボタンを押してください。

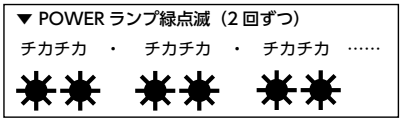
▼ POWERランプは緑点滅

● 定期的に緑点滅している



起動中やシャットダウン中、システム処理中（設定反映中、ファームウェア更新中など）です。
点灯（シャットダウンの場合は消灯）するまでお待ちください。

● 2回ずつ緑点滅している



以下の状態になっています。
・NTPサーバーと時刻同期ができなかった
・ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗した
ルーターがインターネットに接続されていることを確認し、LANケーブルをつなぎ直して本製品を再起動してください。
※ローカルからのデータアクセスや設定画面へのアクセスは可能です。

▼ POWERランプは緑点灯

正常に動作しています。

▼ POWERランプは赤点灯

● お知らせがある
設定画面を開き（11ページ）、画面左上の「通知」または［情報・ログ表示］→［お知らせ］をご確認ください。

●初回起動時
ルーターからIP アドレスを取得できていないか、インターネットに接続できていません。
LAN ケーブルをつなぎ直し、本製品を再起動してください。

● 内蔵ドライブやUSB HDDを取付時
正しく認識していない
⇒取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたドライブが故障、容量不足、非対応フォーマットです。

● 設定変更時
設定変更に失敗した
⇒［情報・ログ表示］→［システムログ］をご確認ください。

▼ POWERランプは赤点滅

●何らかの警告がある
⇒設定画面を開き、［情報･ログ表示］→［お知らせ］または［システムログ］をご確認ください。
⇒起動できない場合は、内蔵ドライブの異常かシステム異常が発生しています。修理センター（38ページ）に送付してください。

●内蔵ドライブの異常かシステム異常が発生していて正しく認識していない
⇒修理センター（38ページ）に送付してください。

●UPS警告が有効時
⇒UPSがつながっていない、または、停電状態

対応USB HDD

- 対応USB HDD
  以下のWebページをご確認ください。
  https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

🚫	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターに触れない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

本製品内に異物（液体・金属等）を入れない
コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないようにしてください。
特に、天面コネクターに異物を差し込まないでください。
感電や発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

▼ 電源(ACアダプター・コード・プラグ)について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のご注意

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。
※ バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2 か所にあることを「バックアップ」と言います。)万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

【重要】譲渡・廃棄の際のご注意

● 情報漏洩などのトラブルを回避するために、システム初期化時の内蔵ドライブ完全消去等を利用し、データを完全消去してください。
※ HDD上のソフトウェアについて
HDD上のソフトウェアを削除することなくHDDを譲渡すると、著作権法に抵触する場合があります。
● 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。
※ インターネットにつないでいると、自動的に最新版を入手する機能があります。

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置してインターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

※ 本製品の各サービスは予告なく変更または終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

アフターサービス

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は併せて終了とさせていただきます。(保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く)

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ総合窓口

保証期間1年間

https://www.iodata.jp/support/after/tel/copld/lela.htm

修理について

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **1年間** 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【アンケートはこちら】
お気づきの点がございましたら、
アンケートにご協力願います。

Memo

Memo

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【ユーザー登録はこちら】･･･https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号(S/N) は本製品貼付のシールに印字されている12 桁の英数字です。
(例：ABC1234567ZX)

【使用ソフトウェアについて】
・本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWeb ページをご確認ください。
http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
・本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(http://www.openssl.org) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。
本製品にはEric Young(eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
本製品にはTim Hudson(tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

ホームページ　http://www.iodata.jp/